寺崎組新聞
第九十号
発行所　寺崎組新聞社

第１２１回組会報告

小武川初陣

寺崎組との遭遇は去年の夏のことでした・・・。

私とＴＴ－Ｒレイドは、神奈川の伊勢原より天竜スーパー林道を抜け、２泊目の野営地を求めに夕暮れ前の「しらびそ峠」を目指す途中でした。通行止めの林道ゲート前で途方に暮れ地図を見ていた自分に、ゴ三浦さんが「この先は土砂崩れで行けないし、下へ降りると時間かかるし、ここへ泊まっていきなよ！」が、未知との遭遇でありました・・・。

その後、寺崎新聞が届くようになり今回、組会に初めて参加する事となりました。

小武川の日程を、ワクワクしながら上司へ休暇の申請を出したところ、数時間後にゴ三浦さんからミクシーサイトにて連絡が入り、「どこかで監視されているのでは？」と思うくらい、既に殺気にも似た寺崎組に引き寄せられるパワーを感じておりました。

今回、小武川の組会でも、寺崎さん他パワーみなぎる方々にお会いでき綺麗な星空の下、とても楽しいお酒と創作料理、バイク談議に歌謡曲？またはキャブレターＯＨ講習、最後はバッテリー上がりの復旧訓練などなど色々有りましたが、気持ちがスッキリして何かが満たされ、そして、パワーをもらってしまった？小武川の熱い凝縮した２日間でありました。

今後ともよろしくお願いします。

記　二四四号　三瓶　公博

地球温暖化、組員老化（ローカ）の休日宴会

全員集合、ナゾの一名も入ってます。

事務的な？小武川組会報告

ゴールデンウィーク後半の五月三日（土）から五日（月）、恒例の小武川宴会が執り行われた。三日の前半と五日の後半に雨が降ったものの、まずまずの天候だったと思う。

初日（五月三日）、バイクで行こうと思っていたところ、短足犬ハッピーを押しつけられたため、仕方なくパジェロミニで朝八時半に大宮を出発。南西に移動し、檜原から上野原へ抜け、あとは甲州街道をひた走り、十五時半に現地到着。途中大月で吉田うどんを食って、韮崎で買い出ししても、まったく渋滞していなかったので、所要時間は七時間で順調そのものだった。

さて、初日の面子は、前日入りのオンボロのＪ３型ジープの地下鉄と連れのご婦人（だっ、誰？？）、伊勢からＨＲ－Ｖの哲ちゃんと年齢にふさわしからぬチューニングが施されたスイフトの赤貧さん、老犬を家に放置できず仕方なくデリカでやって来た牧童、絶不調ＳＲ４００の小林、直線番長ＴＤＲ２５０のアミーゴ、荷物がいつもの日本一周仕様のＸＲ－ＢＡＪＡのむら、はるばる北海道からナンチャッテＤＲ２５０の自Ａ隊北脇、ＸＲ６５０のうす～い・うす～いアベ、ＣＲＦ２５０のパーツを多用したＸＲ６５０なのに、やっぱりザックが傾いている荷崩れ、二個一いや三個一？？ＸＬＲ２５０の組長、私ゴ三浦に加え、初参加は、去年夏の下栗オフで宴会に引きずり込まれたのが縁でやって来たＴＴ－Ｒレイドの三瓶さんと、す ご～く怪しいアーミールックに身を包み、謎のＴＴ５００らしきバイクでやって来た歯科医の椎名先生の合計十五人である。

謎のXT250????エンジンは???

いつもの宴の様に、到着順になし崩し的に宴会は開始された。かける手間が一手間程度の料理というのが疑わしいつまみから（どうやら哲ちゃんはキャンプ用つまみのレシピ本を持っているとかいないとかで、作るつまみは簡単だけど、どれも美味かった）、凝った煮物、天ぷらなどまで順次回転する中、牧童恒例の五一ワイン一升瓶や様々な地酒なども振る舞われ、辺りが暗くなる頃にはすでに宴は絶好調。中盤の自己紹介後には、毎度おなじみ、哲ちゃん仕込みのなつかしの歌謡テープでさらにヒートアップ。それからは、某氏の自己除名問題討論や、その問題の一因を作った人との関係解消で身も心も軽くなった組長をお祝いしたりで終盤戦へ行ったのだろう（私は途中で無意識のうちにテントへ行って撃沈したので、あくまで推測である）。

明けて二日目（五月四日）、六時前後からぼちぼち起床する人あり。

キャンプ全景、ある日の夕方（たぶん初日）

ラジオなど聞きながら朝飯を食いつつ、連泊なのでつい一杯と缶に手が伸びてしまう。などと戯けていると、都合などもあって本日帰る人たちは、ぼちぼち帰り支度を始めた。本日帰還者は地下鉄＋１、哲ちゃん、赤貧さん、椎名先生、三瓶さんである。それにしても、昨日ブヨに刺された跡が痒いったらありゃしない。連休の組会でブヨに刺されることなんて今までなかったのに、これは地球温暖化の顕著な表れか・・。

ほぼ並行して、小林の不調ＳＲ４００イジリが始まる。聞けば高速でも９０キロ程度しか出なくて、それ以上は回転が上がらない様な感じとか。エンジンをかけてチェックすると、何だか排気が黒っぽい。診断結果は「ガスが濃すぎる」ということになり、早速キャブばらしが開始される。キャブを外す際、キャブの側面にある樹脂製の負圧を伝えるパイプを誰かさんが（って、俺だよなぁ・・・汗。）どこかに引っかけて欠いてしまう（小林よ、勘弁してくれ～！）。一瞬、一同唖然、直後、経年変化で角質化して脆くなっていたためと無理矢理結論づけて責任を逃れ、後ほど買い出しの際に接着剤を買って補修することになる。キャブ自体はメインジェットの番手などをチェックするも、特に問題はなさそうだが、ここで組長がかつての著書であるレストア本で同型のＳＲをいじった記憶をたぐり寄せ、ニードルのバルブへの組み付けが間違っている可能性を指摘し、そこを修正し組み直してみると、黒い排気もだいぶ薄れて回転も前よりは上がるようになった。

ここで、とりあえずＳＲイジリは終了するも、今度は帰ろうとした地下鉄ジープのセルモータがウンともスンとも言わないとのこと。ブースターケーブルで赤貧スイフトから貰い電気で何とか復活するも、原因は良く分からず（オルタネータ～バッテリー間の配線の断線？）不安は残ったままで、エンストが恐ろしい地下鉄はいつにもなく緊張し、アクセルを開け気味の発進で野宿地を後にした。

動かぬJ3とハッピーちゃんとノムラのケツ

さあ、帰還者も粗方出発し、連泊者の何人かは買い出しや林道走行がてらの温泉入浴へ出かけ、残った者はいきなり暇になった。高く登った太陽から逃げるように日陰を追いかけ、ゴロ寝＆昼食＆また一杯。いい気分になってお昼寝タイムへ突入だ。小武川の連泊は、朝から夕方までウダウダして、ゆっくりと時間が流れていくのが至福なのである。

三時近くなって、買い出し組が帰還し始め、また、本日合流組の組長お下がり化石のＸＬ２５０Ｓのフガ金井と遠くから見たらカバさんかと思ったよアフリカツインの村松岡も到着し、本日もそろそろ宴会の開始時間へ。午後四時きっかり（ウソです、みんなフライングです）に宴会開始。後は昨日同様めくるめく陶酔の世界へと入って行ったである。

最終日（五月五日）は何だか朝から雲行きが怪しい。本日、ウラル（ロシア製サイドカー付き二輪駆動バイク）の大会へ参加している醤油屋上嶋を待って連泊するフガ金井以外は全員帰還するので、朝食も朝の儀式も早々に済ませ、出発準備に取りかかる。バイクは入笠方面へ向かう関西東海組と中津川林道を目指す関東組、新潟のフェリー乗り場を目指す北海道組（って一人だけど）に分かれて出発していった。その後、二台の車が出発して今回の宴会も無事終了した。では、また、年末も小武川でお会いしましょう！

後日談：７２モリシタは五月四日から参加すべく東京を出発するも、中央道談合坂でＣＢ７２のエンジンが焼き付きを起こし、泣く泣くリタイアとなったとのこと。ご愁傷様でした。

記　ゴ三浦

ボロバイク・エンデューロバイク・ラリーバイク改造
うなぎ工房
何でも直します。何でも作ります。
090 833 4433

しらびそオフ会告知

例年であれば、首謀者の赤貧さんから、何らかの目玉行事付きで告知があるのですが、今年、赤貧さんは退っ引きならないお家の事情で、夏のしらびそを主催することができないのです。

ゴールデンウィークの組会の際に、その赤貧さんより、「例年の参加者で申し合わせの上、恒例の夏の行事が途切れることのないように。」と申しつかりましたので、ここに会期等を次のとおり告知いたします。

なお、今年は首謀者欠席のため、会期を短縮すると共に、目玉の行事は現時点では告知できませんので、悪しからず、ご了承下さい。（参加予定者は、各自、目玉の行事を考えてください。例：自主除名者の問責決議大会等・・・。）

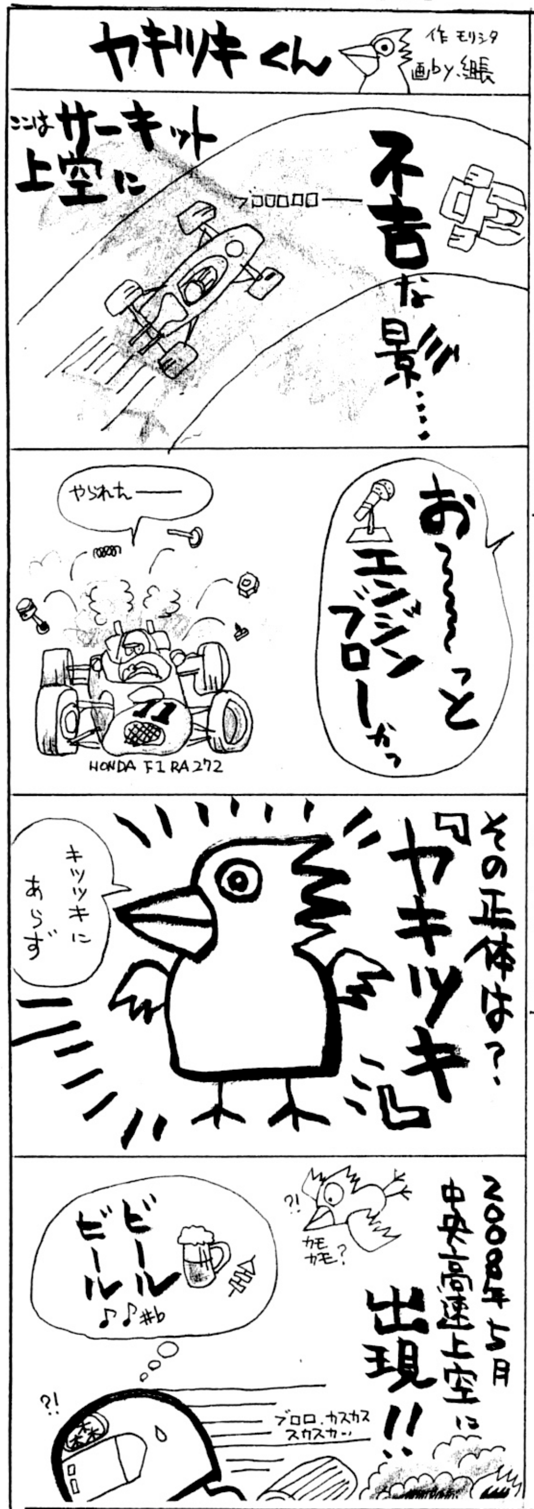
会期

平成二十年八月十五日（金）
～八月十七日（日）

場所

いつものしらびそ高原の広大な空き地（分からない人は、誰か行ったことがある人にでも聞いてください。林道が去年のように崩落等で通行止めの際は、去年と同じ下栗のゲート脇広場とします。）

※本件は、後日、組掲示板でも告知いたします。


ヤギリキくん
作 モリシタ
画by.繊
ここはサーキット上空に
不吉な影・・・
フ゜ロロロロロ――
やられた――
おぉ～っとエンジンブローしかっ
HONDA F1 RA272
その正体は？、『ヤキツキ』
キツツキにあらず
2008年5月中央高速上空に出現！！
ビールビール♪♪#♭
カモカモ？
?!
ブロロ、カスカス スカスカ…

こんな春に、お前に乗れないなんて・・

ある日の72とモリシタ

連休に小武川林道で行われる組宴会に向かう途中、愛車の突然のエンジン焼き付きに見舞われた一人の中年。パニック時、人の魂はいかに脆く揺れ動くのか？自筆による渾身のインナースピリチュアルレポート。

◎５月４日、十三時三十分ごろ＠中央高速自動車道下り車線談合坂手前登坂車線

「いい天気だよなぁ、暑いぐらい・・・。夕飯用に持って来たジンギスカン肉が痛まないといいんだけど。しかしこのバイク、時速八十キロ巡航だとちょうどヤな微振動がシートに出るんだよな、お尻がムズムズしてしょうがないよ・・・。まだ談合坂かよ、早く着いて『プシュッ』てえのをやりてーなぁ・・・。あそこは標高が高いから『パシュッ』てほうがリアルかな？ん？おおお、何だよこの車、いきなり登坂車線に入り込んできやがって。２人？フラフラするんじゃないよ、ラブホテルの前でもあるまいし。危ないよ。だいたいパールピンクなんてひってえセンスだね、ＳＡで遅メシかよ。何食おうか迷ってんだろ？俺なら釈迦堂の天ぷらソバまで我慢するがね。けっこういけますよ、あれは。客のおこぼれをもらいに出てくる猫どもかわいいしな。え？入らな？で、俺を通せんぼかよ。んじゃ追い抜かせてもらうよ。お尻がむずがゆくてしょうがないし、『パシュッ』が俺を待ってるんでね」

◎談合坂ＳＡ入り口通過・走行車線

「さて加速・加速っと・・・とと、あれ、ムズかるねこのバイク。プラグカブリか？？ガス欠か？いや、ガソリンなら再値上げ後の高いヤツをついさっき入れたばかりだぞ。コックを閉じ／開き・・・っと。だめだね。変化ないね。アクセル・オープン・・・だめだ回転上がんないよ。やばっ、それどころか回転下がり始めたぞ。こんなとこで止まったら後続車に轢かれちまうよ。だぁ？っ、パールピンクの便器みてぇな車がまだ俺の左を走ってやがる。ジャマだ！ジャマなんだよぉ？っ。あわわスピードが落ち始めたよ、おかしいよ、こんな症状初めてだよ、壊れたのか？壊れちまったのか俺の72よぉ・・・だからといって止められませんよここでは。ええ、ここではだめです。路肩に逃げないと・・・パールピンクが先行したぞ、このチャンスに登坂車線に戻って・・・でぇーっ、狭っ。路肩狭っ。ＳＡの横だからか、全然セーフティーじゃないじゃん。危ないよぉ？っ。おっ、ゼブラゾーンが見えるよ、ＳＡ出口だなっ。72、スマン！あそこまで保ってくれよな。もう少し、もう少しだぞっ」（エンジン停止後、クラッチを切って惰性でゼブラゾーンに到達）

◎談合坂ＳＡ出口・ゼブラゾーン

「なっ、何とか助かったけど、ここも安全とは言えませんよ。ええい、72押して逆走(歩)しちまえ。目測で七十ｍ？小さいくせに重いんだよな、このバイク・・・あれ、意外と楽じゃん。あっ、そうか、見た目は下り(逆走だと登り)だけど実は登ってるのね、この出口車線・・・人は『ＳＡ出口は下り坂』なんていう常識にいかにとらわれているかということかな・・・って冷静に考えてる場合じゃないよ。ＳＡから出てくる車の注目の的じゃんよ。カッチョワリ？っ」

◎談合坂下り方向ＳＡ・ガスステーション横

「いやいや、えらいめにあったよね。こういうときはまず一服と・・・あれ、ポケットが・・・下が見えない・・・そうだ、新調したフルフェイスかぶって来てたんだっけ。俺も小物だね、動揺モロ出し。でも、タバコに火を点けた後になって自分がフルフェイスかぶってることに気がつくよりはましか、あれは間抜けだ・・・まてよ、フルフェイスじゃそもそも最初に火を吸い点けられないよな。んん、よしよし。物事を論理的に考えられるようになってきたぞ。しかし、72君、ゼブラゾーンに入る直前の『シシシシッ』って金属音は何だったのよ。焼き付いちゃったのか？それに煙が出てるぞ。右エキパイの横・・・なんだ、いつもオイルがにじんでるとこか。目立った外傷はないな。・・・キック踏んでみていい？ゆっくりやるからさ、優しくするからさ、いいかい？踏むよ。(キック下りる)おおっ、いいぞいいぞ固着はしてないようだね、でも抵抗は通常時より多めかな。あれ、あのハーレーの２人乗り、こっち見てるよ。今の俺って間抜けに見えるんだろうなぁ、はいはい、愛車壊した大バカものはこの私ですってか。いや、72君、お前は、壊しちゃったからお世辞でごまかすわけじゃないけど端正なルックスです。それに惚れてオーナーになりました。はい。

それに比べてこの俺は・・・万が一にも組員に見られていたらどうしよう(実は見られてた)。あっそうか。俺たちが走れないなんて、俺しか知らないわけだ。よし、堂々としてりゃいいんだ。ＳＡで一休みしてるだけのように見せるのだ。ゆとり、ゆとりを演出するんだよ。ナチュラルツーリングの写真みたいなシブい中年を演じるのだ(以後タバコ３本を何事もなかったかのごとく灰にする・・・でも、先っちょの火種が揺れているイコールまだ隠せない動揺)・・・待てよ、俺が走れないことを俺しか知らないってことはよ・・・このままじゃ助けが来ないってことじゃん。どーすんの、ずっとここにいるわけにはいかないよ。ＪＡＦ！ジャフ！ジャーフ！」

◎５月４日、十六時ごろ＠環状八号線外回り車線走行中のＪＡＦトレーラー内

モリシタ(以下Ｍ)「はぁぁ？、で、今回の救出でおいくらぐらいに・・・」

ＪＡＦ運転手(以下Ｊ)「回収で一万五千円、運送がキロ六百円ですから、ここまでで大体七万五千円ってとこでしょうか。で、これを機にＪＡＦにご加入いただければさらにプラス六千円です」

Ｍ「はぁ？っ。キロ・ロッピャクエン・・・バイクに積んでいるジンギスカン肉は(百)グラムで三百円・・・」

Ｊ「ははは、昨日はやはり動かなくなったハーレーを茨城まで運びましたよ」

Ｍ「今は他人の不幸を笑う余裕もないですよ。・・・ピポポ・・・もしもし、俺、お宅の亭主です。まとまったお金が必要なんで、ボクのカードを用意してマンションの下で待ってて下さい。あと十五分後に・・・買い物に出るところだった？いいよ、必要ないよ。今夜はジンギスカンなの、ジ・ン・ギ・ス・カ・ン・っ。今夜はビールにジンギスカンって決めてたの！・・・あのねぇ、ムキにもなりますよ！・・・使い回しってあなた人聞きの悪い、Ｓ場Ｋ兆じゃあるまいし、まだ開封してないよ。・・・大丈夫だって！凍らせて保冷バッグに入れれば夕方まで保つって言ったのはあなたでしょう。それじゃ、よろしく。プッッ・ツー・ツー。・・・運転手さん、支払いはカード一括で・・・あ、それと、運転手さん、笑い過ぎ・・・」

走ってる頃の72

記　72モリシタ

小武川組会一人一言

●久々にＫＤＸで参加の予定が犬連れのため次回(いつ？)へ持ち越し。(牧童)

●牧童さんの一升瓶ワインをいただいたのですが、『去年のしらびその一升瓶の方が美味いね』と言ったら『おんなじだ～』と言われました。でもあれは違う瓶だと今でも思っております。(赤貧)

●久しぶりの組会は買ったばかりのピカピカ十五年落ちのＳＲ４００での参加でした。キャブの調子があまりにも悪く、行きは軽自動車に煽られまくりましたが、組員様達のおかげで、帰りはなんとか９０キロ出るようにチューンされました。

今ではＣＲキャブを装着し、峠でナナハンをブッちぎっています。どうもありがとう御座いました。(メザシ小林)

●久々に楽しい酒が飲めました。でも組員のオヤジ化と品位の低下が・・・(汗)。まあ今に始まった事ではないかぁ～。(北の守り・管理人北脇)

●いやー久々の野営、堪能しましたわ。(荷崩れ)

●行きも帰りもカッパ着るタイミングを逸してしまいびしょ濡れでした。なんで山の向こうは明るく見えるのでしょうか？教えて下さい。(村松岡)

●たった二晩の参加でしたが、一キロも体重増えました。減量中なのに。戻すのに二週間近くかかりました。(ノムラ)

●なんや、それぇ？カタログみたいな▽※＊◎＄。また、必殺のカセットテープをお楽しみに！(伊勢の伊藤電気)

●今年もなんにもしないのを楽しみに指折り数えてました。なんにもしない退屈がやっぱり幸せでした。今年はちょっと皆さんヤサグレてたかな(笑)また無事に皆さんの顔が見られればやっぱり幸せです。(フガ金井)

●どうせ今回も誰かに創作されているんだろうな。オレの一人一言・・・ブツブツ・・・。(アミーゴ)

●地球温暖化がここまで進んでいるとは！ブヨは嫌いです！(ゴ三浦)

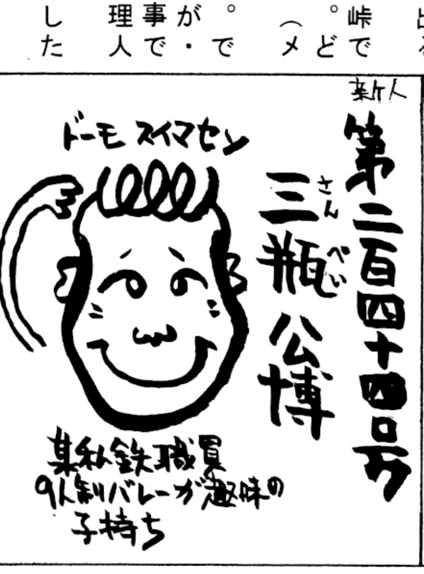
●駅名連呼、歌共に、不完全燃焼に終わった組会でした。(アベ)

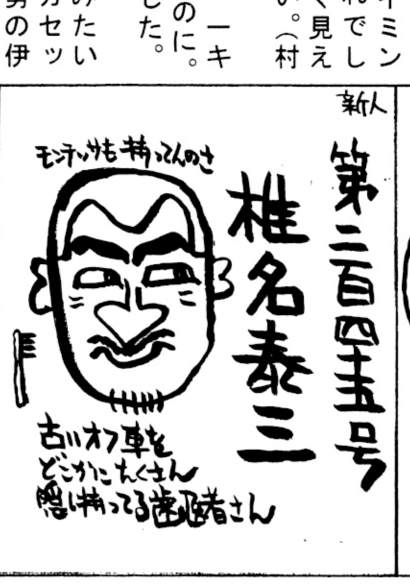
●ふ・ふ・ふ・・・、怪しい司会ではなく歯科医です。仕事の時の白衣はアーミー柄ではありませんから・・・。今後もよろしく願いします。(歯科医・椎名)

●今回は見学者を連れて前日よりジープにて参加。静かな野宿と大宴会の双方を満喫できるよい組会でした。ただ、帰り際ジープのバッテリーがなくなっていたのは大誤算！電気を頂いた赤貧さんをはじめ、皆様にはお世話になりました。

※おまけ　見学者について

元はアベが知り合っていた。一応女性で既婚者。一緒に登山キャンプや年越しキャンプなんぞをやっている。まぁ女性としては強者の部類に入るでしょう。そして今回の道中、シートベルト(二点式！)はしていたが、ドアも転落防止のロープも無いジープの助手席で居眠りをこく図太さも持ち合わせている。(地下鉄)


新人
第二百四十四号
三瓶(さんべい)公博
ドーモスイマセン
某私鉄職員 9人制バレーが趣味の子持ち


新人
第二百四十五号
椎名泰三
モンキッサも持ってんのさ
古いオフ車をどこかにたくさん隠し持ってる歯医者さん

編集後記

でぃく■２人目できちゃってよー
地下■福とん編集ってねーたまに遅れるぜ
ゴ三■ＴＬＲのフォークボルト取ってね組長
モリシタ■ナナニーがだめならＳＸがあるさ(泣)
元■組長・ベスパおねがいねー